



第1回 南丹市環境ワークショップ 結果概要

(1) ワークショップの概要

- ・開催日：令和2年1月25日（土） 13：30～16：00
- ・場 所：南丹市役所2号棟301会議室
- ・参加者：5名



<プログラム>

時間		内容	
13：30～ 13：45	15分	開会 1 はじめに ・あいさつ ・南丹市の環境に対する取組について	
13：45～ 13：55	100分	10分	2 意見交換 ①自己紹介
13：55～ 14：45		50分	②お住まいの地域の環境について ・説明 ・意見交換
14：45～ 15：25		40分	③今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア ・説明 ・意見交換
15：25～ 15：50	25分	3 成果発表 ・②、③の成果発表（1グループ5分×2）	
5：50～ 16：00	10分	4 おわりに ・あいさつ ・ご意見シートの記入	
16:00		閉会	

(2) ワークショップの結果

1) Dグループ(一般市民)

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

	名称	備考
1位	生身天満宮	歴史ある建物であるため
	摩気神社	歴史ある建物であるため
	本梅川のノウルシ(希少種)	希少な植物がたくさん生えている

- ・今後も残したい場所として、生身天満宮、摩気神社、本梅川のノウルシが多く挙げられています。
- ・生身天満宮、摩気神社を始めとする社寺について、歴史ある建物であることを理由に挙げる参加者が多くなっています。
- ・社寺を守る大切さを実感する一方で、地域住民では関わるのが難しく、市や組織(社寺の関係者)に率先して保全等の活動をして欲しいとの意見が出ています。
- ・また、本梅川のノウルシについて、希少な植物が生育していることを知らない人が多いため、今後は地元住民と連携した保全活動ができるとよいといった意見が挙げられています。
- ・このほか、園部公園の美しい桜や紅葉、るり溪の豊かな自然などを残したいという意見が挙げられています。

◆改善していきたい場所

	名称	備考
1位	るり溪	さびれており、活気に溢れるとよい 水質が悪い。きれいになるとよい
	小向山	もっと活用できるよう整備してほしい

- ・改善していきたい場所として、るり溪や小向山が多く挙げられています。
- ・るり溪周辺については、点在する廃墟や水質の改善などが望まれています。
- ・小向山については、昔から自然とふれあえる場、子ども達の遊び場として利用されており、もっと活用できるよう整備していくことなどが望まれています。
- ・このほか、廃墟や空き家の活用や荒廃が進んでいる山の管理、日吉町で取り組まれているような、ササユリ(希少種)の保全、町に多数ある太陽光パネルの改善などが挙げられています。
- ・太陽光パネルについて、山側に多くあるため、緑豊かな景観にそぐわなかったり、近年多発する異常気象の影響からくる二次災害が懸念されています。

◆その他

- ・その他として、地域外から来る人のために、るり溪や小向山など地域の魅力ある場所を結んだハイキングコースの設定や見どころマップの作成、教育委員会を活用したボランティアガイドの設置といったアイデアが挙げられています。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・園部公園 ⇒桜やイチョウ、紅葉がきれい美しい ・龍隠寺 ⇒紅葉がきれい ・竹井 ⇒蛭がいっぱいいる ・るり溪、深山 ⇒自然がいっぱいで、サンショウウオなど希少な生きものもいる ・八田川、里山 ⇒蛭がいる ・大堰川 ⇒昔はよく川遊びをした ・本梅川のノウルシ（2） ⇒本梅川の河川敷に貴重なノウルシの群生地がある ・京野菜（キクナ）を育てている 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛭や川の保全是地元住民でも管理していける ⇒本梅川のノウルシについて住民と連携した保全活動ができればよい
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・るり溪（1） ⇒園部側入口の付近や宿泊地に廃墟が多く、さびれている ⇒川の水質がよくない ・小向山（小麦山）（1） ⇒もっと活用できるよう整備してほしい ・園部は桜並木がない ⇒昔は多くあったが今は無い ⇒黒田古墳の所に桜があると良い ・ササユリ ⇒昔は沢山あったが山の荒廃が進み、少なくなっている ・日吉町で山を管理し始めたらササユリが復活・増えた ⇒園部でも日吉町のような取組みができるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒もう少しきれいにして活気が出てくれば良くなるのではないかな ・園部の地域資源の活用 ⇒道の整備を行い、小向山、園部公園、るり溪などをめぐるハイキングコース・マップをつくってはどうか ⇒案内をするボランティアガイドの育成が必要 ⇒案内を教育委員会に担ってもらう事も検討する
景観に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・深山 ⇒見晴らしがよく、きれい 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や廃墟が多い（るり溪） ・山際に太陽光パネルが多い ⇒大雨が来た時に地滑り等の災害が起きるのではないかと懸念している ⇒自然・景観の破壊につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒早く規制しないと園部のよい所がなくなってしまう ⇒防災をとるか、自然をとるかバランスが大事
歴史・文化に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・生身天満宮（2） ⇒歴史ある建物 ・摩気神社（2） ⇒歴史ある建物 ⇒鳥居、本殿の素晴らしさをいつまでも残したい ・園部高校（1） ⇒歴史ある門が美しい ・九品寺 ⇒門がよく、きれい 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・神社や寺の後継者不足 ・少子高齢化で祭を継承できなくなっている ・昔は鮎寿司があったが今は無い 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒市や組織にがんばってもらいたい ⇒（人が来るような）仕組みづくり
その他		<ul style="list-style-type: none"> くりやのおまんじゅう（本店）などのお店があった ⇒有名だったが、もう無くなってしまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・見所マップの作成 ⇒若い人の視点を入れてはどうか ・外部から人が来るような演出も必要

＜今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア＞

◆自然や緑に関すること

- ・ 獣害に関して、現状はジビエとして道の駅での販売や飲食店でジビエ料理として提供しているが、普通の肉より高価であるため、買う人があまりいないのが問題といった意見が挙げられています。
- ・ 対策として、ジビエのブランド化やジ流通システムの構築といったアイデアが挙げられています。

◆景観に関すること

- ・ 景観の取組に関して、既に様々な取組がされていますが、さらに地元への啓発や発信が必要といった意見が挙げられています。
- ・ 発信の手段として広報誌がありますが、広報誌のみでは読んでもらえる人が限られてくるため、世代によってさまざまな発信方法を使い分けるといったアイデアが挙げられています。また、継続して取り組みを進めることが大事だという意見も挙げられています。

◆ごみに関すること

- ・ 不法投棄について、年々減少してきているものの、たばこの吸い殻は依然として多く、また、山には家庭ごみがたくさん捨てられているという意見が挙げられています。

◆その他

- ・ 少子高齢化がすすんでいる、また、自治会等の役職を担う人がいなくなっていることが最も重要な課題と考えている人が多くなっています。
- ・ 対策として、若い人が来やすいように、市がUターンやIターンの仲介をするというアイデアが挙げられています。
- ・ この他、若い人が環境づくりに携わるには、移住してきた人が好きな仕事に就けるよう地域性や需要の把握、働く場所を身近に作るというアイデアが挙げられています。

	主な意見	アイデア
自然や緑に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害（シカ・イノシシ・サル・ハクビシンも） ⇒ 檻や罠を仕掛けるなど、各地域の地元の人がかんばっている ⇒ 猟師が少なく、高齢化も進んでいるため駆除が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジビエとして活用 ⇒ 道の駅で販売しているが、普通の肉より高く買う人は少ない ⇒ ジビエを扱う流通システム出来ると良い ⇒ ジビエのブランド化を検討する
景観に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ すでに様々な取組がされている ・ 景観に関して、地元への啓発、発信が必要 ⇒ 他人事ではなく自分の事と思ってもらう ⇒ 課題として、続けていくことが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報に載せてもらう ⇒ 広報誌はあまり読んでもらえない ⇒ 広報誌のみではなく、様々な発信のやり方が必要。若者にはSNS、高齢者には広報誌といった使い分けも大事 ⇒ イベントなどを通じて言葉で発信していくことも大事
歴史・文化に 関すること		
ごみに関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山に不法投棄が多い ⇒ 道路沿いは減ったが吸い殻は依然として多い ⇒ 山に捨てるものは家庭ごみが多く、ビニールに包んで捨てられている 	
（環境に携わる人 づくり等） その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外から来た人が就けるような専門職が無い ⇒ 地域性や需要の把握が必要 ・ 高齢化で農業が出来ない ⇒ やる人がいない ・ 役をしてくれる人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要があるものが分かれると良い ・ 若い人が手伝ってくれるような環境づくり ⇒ 市がUターン、Jターンの仲介をする

2) Aグループ(行政) ※参考

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

	名称	備考
1位	るり溪	ありのままの自然がよい
2位	摩気神社、生身天満宮	

- ・今後も残したい場所として、るり溪の美しく豊かなありのままの自然や摩気神社、生身天満宮が多く挙げられています。
- ・生身天満宮や摩気神社といった歴史的建物で貴重な文化財については、観光資源として活用していきたいが、周りの環境も大事にする必要があるといった意見が挙げられています。
- ・このほか、ホテルの群集地や小向山の風景、田園風景など園部の豊かな自然が多く挙げられています。

◆改善していきたい場所

	名称	備考
1位	るり溪の不法投棄	ごみが散乱している
2位	園部IC付近の廃棄物集積場	産業廃棄物
3位	シカやサル(獣害)	

- ・改善していきたい場所として、るり溪の不法投棄や園部IC付近の廃棄物集積場、シカやサルなどによる獣害が多く挙げられています。
- ・るり溪の不法投棄については、ゴミが散乱していたり、バーベキュー後のゴミが景観を損ねるといった懸念がされています。
- ・このほか、国道372号(旧道)や天引峠、林道への不法投棄や街中のペットマナーの悪さなどが挙げられています。
- ・また、大規模ソーラー発電施設が道路から見えるところにも設置されており、景観を阻害しているといった問題も挙げられています。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍の群集地（天引の里） ・るり溪（4） ⇒豊かで美しい自然が残っている ⇒広葉樹が多く、色どりが綺麗。滝もある ⇒ありのままの自然をいかに残せるか	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿が多く、サルもでる（1） 	
景観に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小向山の風景 ⇒スーパーマリオの聖地 ⇒散歩にオススメ ・摩気神社周辺の田園風景 ⇒原風景として一帯を保全 ・農産物の朝市 ⇒天引の里、人の里など ・ゆずの里—法京の里山 ・園部公園周辺がランニングスポットになっている 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・陣田川 ⇒川の水が汚い ・犬のフンの放置 ⇒街中の住宅地等や通学路にあるため苦情がくる ・（園部と八木の間）山裾の大規模ソーラー発電施設 ⇒通りから見るとところにもあり、景観を阻害している ⇒環境破壊にもつながる 	
歴史・文化に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・摩気神社（2） ⇒貴重な文化財 ・生身天満宮（2） ⇒観光に活用 ⇒日本最古の天満宮で歴史的な価値がある建物 ⇒梅の木もきれい ⇒周辺の環境が大事になる 	
	改善していきたい場所		
ごみに関する事	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・園部インター付近の廃棄物集積場所（2） ⇒玄関口ですぐ見える場所に位置しているため、まちの価値を下げる ⇒府が改善指導を行っている ・るり溪の不法投棄 ごみ散乱（4） ⇒バーベキュー後のごみが多い ・国道372号(旧道)や天引峠、林道なども不法投棄が問題になっている 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・地元の自主的な働きが活発になると、保全や改善活動に繋がる ・地域主体の組織による取組が大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い所マップの作成

<今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア>

◆自然や緑に関すること

- ・自然や緑を守るため、里づくり（田んぼや里山を荒らさない）や地産地消の取組が重要といった意見が挙げられています。
- ・これらを進めるため、地元の米や野菜の生産体験や、農家民宿体験などといったアイデアが挙げられています。
- ・この他、生産者と商店が協力して、地産地消の取り組みを作っていくことや行政が環境保全エリアにポイント指定制度を設けるといった意見が挙げられています。

◆景観に関すること

- ・高齢化が進み、市町村レベルでは田畑や山を荒らさないための対策が難しく、国レベルでの対策が必要といった意見が挙げられています。
- ・景観を守るため、環境版写真コンテストによる市民の景観保全意識の醸成や、蛍条例の発展、また、不法投棄や野焼き、太陽光発電施設設置に関して指導や罰則を強化するといったアイデアが挙げられています。

◆歴史・文化に関すること

- ・歴史・文化を守るため、摩気神社など歴史的・文化的価値の高い資源のPRを充実させることや、木の駅プロジェクトのように地域資源・地域通貨の循環・活用といったアイデアが挙げられています。

◆ごみに関すること

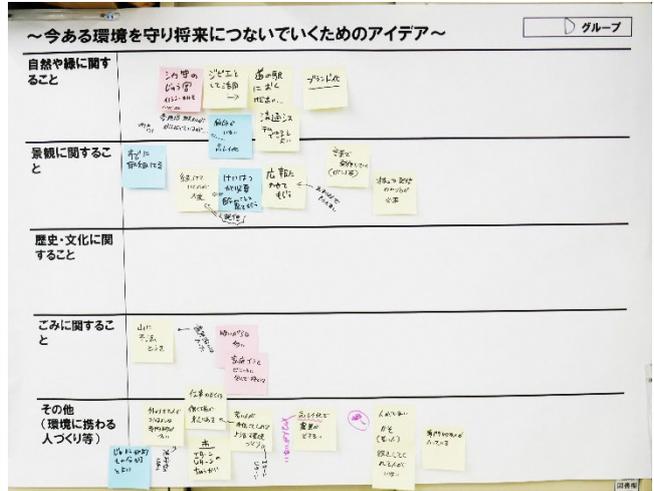
- ・不法投棄に関して、見回りやゴミ拾いを民間が中心となって取り組むことや、既存制度を一本化して管理体制を強化するといった意見が挙げられています。
- ・また、ごみを減らすアイデアとして、楽しみながら環境保全について知る・学ぶ機会となるゴミ拾い大会の開催や、ゴミ拾いや環境保全活動への参加をするとポイントがもらえる制度、ゴミ拾い参加者への報奨金制度の制定など、南丹市オリジナルのごみ対策をつくるといったアイデアが挙げられました。

◆その他（環境に携わる人づくり等）

- ・その他として河川の上・下流域の自治体とのつながりを強化し、流域単位での環境保全対策の実施や、産学官民の連携強化といった意見が挙げられています。
- ・また、高齢化で人材の確保が難しい中、他地域からも参加してもらう仕組みづくりや、環境フェスのようなイベントを開催して取組活動を表彰するといったアイデアが挙げられています。

	主な意見	アイデア
自然や緑に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・里づくり（栗、梅、柚など） ⇒風景をつくる ・地産地消の取組み ⇒生産者と商店が協力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験ツアーの実施 ⇒生産（米・野菜等）、食べる ⇒市外の人へアピール ⇒ジビエ ・田舎のおじいちゃん、おばあちゃんと暮らす 夏休み体験（農家民泊） ・市の環境保全エリアにポイント指定制度 ⇒市の指定・認定制度をつくる(行政)
景観に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・田畑や山を荒らさないための施策（国レベル） ⇒高齢化のため、市町村レベルでは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真コンテスト一週知（行政） ⇒環境版の実施 ・蚩条例の発展 ⇒今は美山地区のみが対象だが、天引やホテルの里などにもエリアを拡大していく ・景観法に基づく集落の景観協定 ⇒モデル集落から拡大を図る ・不法投棄、野焼きの罰則強化と報道(行政) ・太陽光発電施設条例に基づく適正な維持管理などの指導(行政) ⇒小規模はあちこちにあるが大規模はまだ少ない
歴史・文化に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的、文化的価値の高い箇所のPR(行政) ・木の駅プロジェクトのような地域通貨をつくる(電子マネー) ⇒目的は何？人口確保の手段としての制度作りはよいが、続けるには難しいのでは
ごみに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・既存制度を一本化する ・不法投棄に呈して、見回り、ごみ拾い等を民間が中心となって行う。 ⇒見せしめないと減らないのではないか ・プラゴミ0(ゼロ)宣言(行政) ・親子で川そうじをやっている ⇒楽しみながら学ぶ・知る機会づくり ・河川の下流域の市町の住民との共同活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋辞退に対する、市のポイント制度または、事業者支援(行政) ・ごみ拾いの他にも環境保全活動参加へのポイント制度をつくる(行政) ・ごみ拾いをした方へ報奨金をあげる ・スポーツ的ごみ拾い大会 ⇒南丹市オリジナルを提供する ⇒他の地域からも参加してもらう ⇒南丹オリジナルを提案する
（環境に携わる人） その他 づくり等	<ul style="list-style-type: none"> 日吉ダムを大切に ・下流域の現状を知る ⇒ストーリー性で考える、行動する ・上流域としての責任をもつ ⇒市民にも納得してもらえる ・上流域、下流域の自治体のつながり ・行政、団体、大学が民間と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域から参加してもらう（人材確保） ・環境フェスのようなものを開催して取組活動を表彰など(個人、企業含めて)してはどうか

Dグループ



Aグループ



(3) ご意見シート

①ワークショップに参加した感想はいかがですか。

選択肢	回答数
1. 有意義だった	3
2. 普通	2
3. 有意義ではなかった	0

②ワークショップについてそれぞれの項目欄であてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

1. ワークショップの時間

選択肢	回答数
適切だった	5
長かった	0
短かった	0

2. ワークショップの内容

選択肢	回答数
理解できた	5
難しかった・わかりづらかった	0
どちらでもない	0

3. ワークショップの進め方（話し合う形式）

選択肢	回答数
良かった	4
悪かった	0
どちらでもない	1

4. 意見を言う雰囲気

選択肢	回答数
言いやすかった	5
言いにくかった	0
どちらでもない	0

③ご意見・ご要望

- ・家庭における地球温暖化防止の取組、教育、エコ診断、効果ある防止方法
- ・課題の明確化と解決行動と成果
- ・本日は大変有意義であったと思います。参加者は少ないですが、なかみある話しが聞けてよかったです。今後も参加したいです
- ・基本計画を作成しても、絵にかいた餅にならないように、具体的な取組に踏み込んでいただきたい
- ・ゴミ処理への工夫、使わない工夫、処理問題

第1回 南丹市環境ワークショップ 結果概要

(1) ワークショップの概要

- ・開催日：令和2年1月26日（日） 13：30～16：00
- ・場 所：八木公民館 大集会室
- ・参加者：7名



<プログラム>

時間		内容	
13：30～ 13：45	15分	開会 1 はじめに ・あいさつ ・南丹市の環境に対する取組について	
13：45～ 13：55	100分	10分	2 意見交換 ①自己紹介
13：55～ 14：45		50分	②お住まいの地域の環境について ・説明 ・意見交換
14：45～ 15：25		40分	③今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア ・説明 ・意見交換
15：25～ 15：50	25分	3 成果発表 ・②、③の成果発表（1グループ5分×1）	
5：50～ 16：00	10分	4 おわりに ・あいさつ ・ご意見シートの記入	
16:00		閉会	

(2) ワークショップの結果

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

名称		備考
1位	大堰川（桜並木や水含む）	
2位	田園・米	
3位	城山、山林	

- ・今後も残したい場所として、大堰川や田園・米、城山、山林が多く挙げられています。
- ・今後も残したい理由として、大堰川では、町の中心にありシンボリックな存在であることや、桜並木や水がきれいといった自然の豊かさが多く挙げられています。
- ・田園・米では、八木が昔から米どころであり田園風景が広がっていること、大嘗祭で八木の米が利用され話題になっていることが多く挙げられています。
- ・城山・山林では、歴史的価値が高いことが理由に挙げられています。
- ・このほか、西光寺の紅葉や春日神社、バイオエコロジーセンターなどが挙げられています。

◆改善していきたい場所

名称		備考
1位	大堰川	大堰川の水質
	獣害	シカ等
	不法投棄	
	竹やぶ	
	浄化センター	

- ・改善していきたい場所として、大堰川や獣害、不法投棄、竹やぶ、浄化センターが挙げられています。
- ・改善していきたい理由として、大堰川では富栄養化が進み、水質が悪化していることが多く挙げられています。
- ・獣害や不法投棄は、八木に限らず全域で問題になっています。
- ・竹やぶでは、かつて竹が竹炭等として活用され美しい景観が保たれていたものが管理不足により悪化していることを挙げている人が多く、伐採や竹炭・繊維などへの利用が望まれています。
- ・浄化センターでは、汚泥の埋め立てが限界に来ていることや資源(廃棄物)のサイクルがうまく回っていないことを挙げている人が多く、汚泥等をたい肥等として活用していくことが望まれています。
- ・このほか、ソーラーパネルなどが挙げられました。

◆その他

- ・その他として、観光や地域活性化の取組は交通システムをセットで考えていくことが重要といった意見、バイオエコロジーセンターをもっと活用していくことが大事といった意見が挙げられました。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

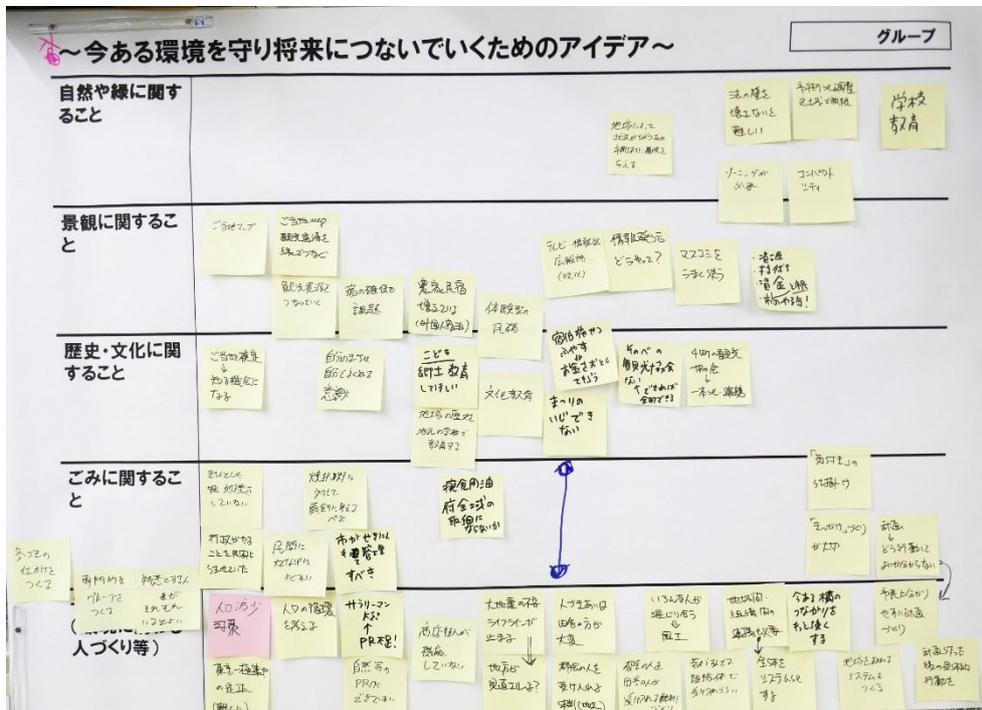
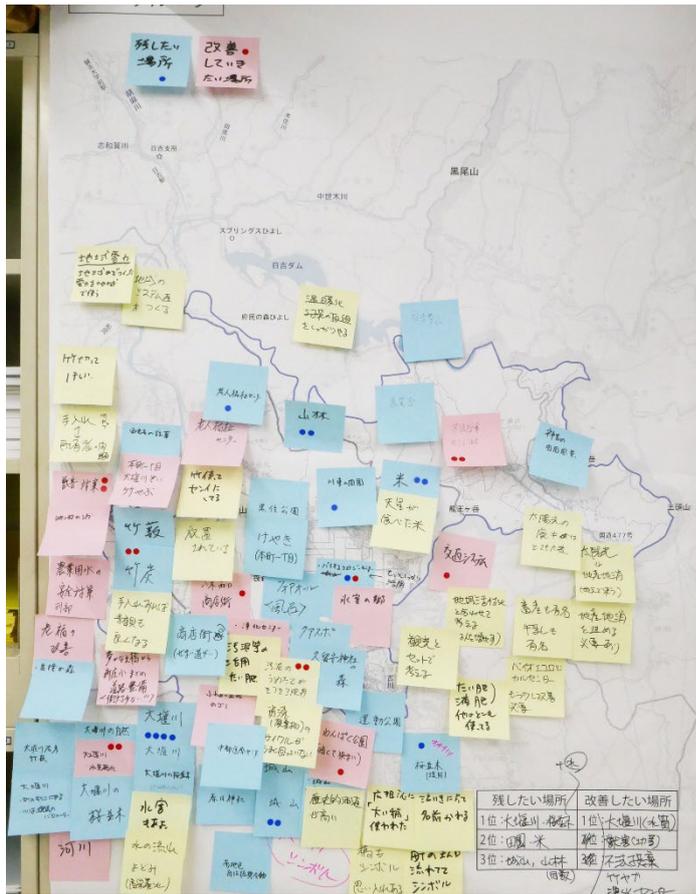
※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・米（3） ⇒大嘗祭で八木の米が使われており、話題になっている ⇒八木といえば米どころ。八木の由来は「米」（米という文字を「八」と「木」に分けた）という説もある ・山林（2） ・西光寺の紅葉 ・黒住公園 ⇒ケヤキがある ・久留守神社の森 ・冒険の森 ・大堰川（4） ⇒大堰橋下流の桜並木がキレイ（1） ⇒大堰川右岸の竹やぶや自然がよい ⇒町の中心にありシンボリックな存在 ⇒川は環境のバロメーター ⇒流域によって名前が変わる（桂川など） ⇒橋もシンボル。大堰橋は広報誌のタイトルに使われていることもあり思い入れがある ・竹やぶ ⇒竹炭として活用している 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害対策（2） ⇒全域で被害が発生している ⇒池ノ内はシカ被害が多い ・大堰川（2） ⇒水質が悪化している ⇒流れがよどみ、富栄養化状態にある ⇒水害もでている ・竹やぶ（2） ⇒竹やぶが放置されている 	⇒竹を繊維にして活用 ⇒竹を切るなど手入れすれば景観も良くなるが、所有者との問題がある
景観に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉ダム ・展望台 ・神吉の田園風景 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネル ⇒廃棄が大変 	⇒地域でつくった電力を地域で使う（地産地消）しくみづくり
歴史・文化に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・城山（2） ⇒歴史的価値が高い ・春日神社 ・畜産 ⇒牛乳も有名 	
	改善していきたい場所		
ごみに関する事	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄（2） ⇒モミジ峠など ・ふれあい道路のごみ 	
その他	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター（1） ・バイオエコロジーセンター（1） ⇒センターで作られたたい肥や液肥等を使っている ・フォア・オール（風呂） ・クアスポ ・運動公園（わんぱく公園） ・南地区自然振興会館 ・商店街（東口） 	⇒たい肥等の活用が八木に留まっており、もっと活用していく必要あり

◆その他（環境に携わる人づくり等）

- ・人口減少対策が最も重要であるという意見が多く挙げられました。
- ・人口減少対策として、サラリーマンや都会の人を受け入れる体制づくりやPRの強化、地域の魅力を知る『きっかけ』づくりといったアイデアがありました。
- ・この他、人づき合い・連携に関するアイデアとして、都会の人を田舎の人（地元）が受け入れる体制づくりや地域間、既存の組織間の連携（体制づくり）等が挙げられました。

	主な意見	アイデア
自然や緑に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育で自然の大切さを学習することが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然等の土地利用について ⇒地域によって状況が違うため、市町村に権限を与えてはどうか ⇒法の壁を壊さないと難しい ⇒市街化調整区域で開発の制限をしていくことが大事 ⇒ゾーニングが必要（コンパクトシティの実現）
景観に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を守るには「資源」「技術」「資金」「市と市民のやる気」が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地マップの作成 ⇒観光資源を線でつなぐことが必要 ・お金をおとしてもらう仕組みづくりについて ⇒宿泊施設を増やす ⇒農家民宿増えている（外国人宿泊） ⇒体験型の民宿 ・情報発信について ⇒現状はテレビ、情報誌、広報誌による広報 ⇒マスコミをうまく使って発信してはどうか
歴史・文化に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りの維持できない ⇒人材の確保が必要 ・4町で園部だけ観光協会がない ⇒園部も観光協会を立ち上げれば4町の観光協会を一本化・連携できるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を知るきっかけづくり ⇒ご当地検定をすれば自分の暮らすまちを知る機会になる ⇒自分の暮らすまちについて、「知る」という意識をもつことが大事 ・子どもに郷土（文化）教育して欲しい ⇒地域の歴史を地元の学校で教育する
ごみに関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとしたゴミ処理をしていない ⇒行政がやること（ゴミ処理）を民間に任せて、丸投げ状態だったことが問題 ⇒市が責任もって管理すべき ・焼却炉に対して市民も真剣に考えるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油の回収・活用について、市域に留まらず府全域の取組として出来るとよい
（環境に携わる人づくり等） その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が一番の問題 ⇒人口減少対策が重要 ・商店街が機能していない ・都市部は大地震でライフラインが止まる不安があり、地方が見直されている ・人づき合いは田舎の方が大変 ・昔から住んでいる組織体で受け入れづらい ・ ・計画→どう行動してよいかわからない ⇒市民に分かりやすい計画づくり ⇒計画つくった後の具体的行動を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策 ⇒人を増やすには働き口が重要。サラリーマンを呼びよせるためのPR強化 ⇒市の特性である自然等のPR ⇒地域の魅力を知る『きっかけ』づくりが大切 ⇒専門的なグループをつくる ・人づき合い・連携について ⇒都会の人を田舎の人（地元）が受け入れる体制づくり ⇒地域間、既存の組織間の連携（体制づくり）も必要 ⇒今ある横のつながりを、もっと強くすることが大事



(3) ご意見シート

①ワークショップに参加した感想はいかがですか。

選択肢	回答数
1. 有意義だった	6
2. 普通	1
3. 有意義ではなかった	0

②ワークショップについてそれぞれの項目欄であてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

1. ワークショップの時間

選択肢	回答数
適切だった	7
長かった	0
短かった	0

2. ワークショップの内容

選択肢	回答数
理解できた	7
難しかった・わかりづらかった	0
どちらでもない	0

3. ワークショップの進め方（話し合う形式）

選択肢	回答数
良かった	6
悪かった	0
どちらでもない	1

4. 意見を言う雰囲気

選択肢	回答数
言いやすかった	7
言いにくかった	0
どちらでもない	0

③ご意見・ご要望

- 家庭における地球温暖化防止の取組、教育、エコ診断、効果ある防止方法
- 課題の明確化と解決行動と成果
- 本日は大変有意義であったと思います。参加者は少ないですが、なかみある話しが聞けてよかったです。今後も参加したいです
- 基本計画を作成しても、絵にかいた餅にならないように、具体的な取組に踏み込んでいただきたい
- ゴミ処理への工夫、使わない工夫、処理問題

第1回 南丹市環境ワークショップ 結果概要

(1) ワークショップの概要

- ・開催日：令和2年2月1日（土） 13：30～16：00
- ・場 所：日吉支所 市民ホール
- ・参加者：10名



<プログラム>

時間		内容	
13：30～ 13：45	15分	開会 1 はじめに <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・南丹市の環境に対する取組について 	
13：45～ 13：55	100分	10分	2 意見交換 ①自己紹介
13：55～ 14：45		50分	②お住まいの地域の環境について <ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・意見交換
14：45～ 15：25		40分	③今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア <ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・意見交換
15：25～ 15：50	25分	3 成果発表 <ul style="list-style-type: none"> ・②、③の成果発表（1グループ5分×2） 	
5：50～ 16：00	10分	4 おわりに <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・ご意見シートの記入 	
16:00		閉会	

(2) ワークショップの結果

1) Aグループ

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

名称		備考
1位	スプリング日吉	
1位	日吉神社 馬馳け	神事

- ・今後も残したい場所として、スプリング日吉や日吉神社の馬馳けが多く挙げられています。
- ・地域の祭りとして、馬馳け以外にも松上げや魚沼神社、秋葉神社のお祭りを残していきたいという意見が挙げられています。
- ・このほか、ホテルやセツブンソウなど貴重な生きものの保全、大切な水資源である田原川などが挙げられています。

◆改善していきたい場所

名称		備考
1位	太陽光パネル	景観に合った施策をしてほしい
2位	ごみ	道沿いに捨ててある

- ・改善していきたい場所として、太陽光パネルやごみが多く挙げられています。
- ・太陽光パネルについては、日吉に限らず市全域に増えており、景観を守るための施策が必要といった意見があります。
- ・ごみについて、地元では協力してゴミ拾いを続けており、昔と比べて量は減っているものの、未だに捨てられているため、ポイ捨てを減らすための看板や監視カメラを設置するといったアイデアが挙げられています。
- ・このほか、空き家や公共交通機関の活用が挙げられています。

◆その他

- ・その他として、JRや私鉄の活用（本数を増やすなど）が挙げられています。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・胡麻川のホタル ・木住川のホタル（1） ・四ツ谷、府道沿いのモミジ等の紅葉 ・生畑大藤前のエビネ群落（1） ・中世木のセツブンソウ（1） ・ササユリ等の保全保護（1） ・田原川 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルや貴重な植生の保全 ・貴重な植生 ・周辺の水資源なので水質を守っていききたい
	改善していきたい場所		
景観に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリング日吉（2） ・日吉ダム 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観保護をする
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル（2） ⇒市全域にたくさんある <ul style="list-style-type: none"> ・空き家（全体）（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観に合った施策を
歴史・文化に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉神社の馬馳け（2） ・田原新しの集落の中にある秋葉神社 ・牧山の松上げ（1） ・魚沼神社のお祭り（1） ・地域の文化を大切に守りたい 	
	改善していきたい場所		。
ごみに関する事	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・府道、市道沿いのゴミ、雑草（2） ⇒たくさんある <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄 ⇒地域外の人が捨てていくことが多い ⇒道路沿いのゴミは20年前より改善されている	⇒看板などを設置して不法投棄を防ぐ
その他	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉支所 ・明治医療大学同病院（1） 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・JR、山陰本線の活用（1） ・集落の道路整備（1） ・田んぼの整備（1） ・農免道路の保全（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR、私鉄の本数を増やしてほしい

<今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア>

◆自然や緑に関すること

- ・市全体で今後も残したい場所として、芦生原生林や美山の自然・川などが挙げられています。
- ・獣害に関して、森が荒れる原因として山を管理しても利益が出づらく、費用が不足しているといった問題が挙げられています。また、猟師も減っており、捕っても食べる人が少ないのが現状であり、ジビエの普及に向けて新しいポスターの作成や宣伝といったアイデアが挙げられています。

◆景観に関すること

- ・景観を守るため、既に地域単位で定期的なゴミ拾いや草刈りなどを行っているといった意見が挙げられています。
- ・高齢化で活動に参加できる人が減っており、ボランティアや協力者の確保が必要といった意見が挙げられています。

◆歴史・文化に関すること

- ・かやぶきの里に関して、高齢化で活動が出来なかったり、既に出来ることはやっているといった意見が挙げられています。
- ・大野ダムに関して、ダム自体が古くなっているといった意見が挙げられています。

◆ごみに関すること

- ・ごみ焼却場に関して、分別方法が今までと違うため住民が混乱していることから、早期のごみ処理施設の新設といった意見が挙げられています。
- ・ごみを減らすため、3Rの教育を強化するといったアイデアが挙げられています。

◆その他（環境に携わる人づくり等）

- ・その他として、人口減少・高齢化にともない老人会や地域サロンといった地域のコミュニケーションの場が無くなってきており、地元の組織の弱体化や空き家の増加につながっていることが課題といった意見が挙げられています。
- ・こうした現状に沿った新たな協力体制づくりを進めていくことが必要といったアイデアが挙げられています。
- ・このほか、バイオディーセルについて、普及を進めるには作ったものを使ってくれる人が必要といった意見が挙げられています。

	主な意見	アイデア
こと 自然や緑に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦生原生林 ・ 獣害 ⇒森が荒れているのが当たり前になっている。 ⇒森を管理しても利益が出ない、費用・人材の不足等が原因 ⇒野菜にも被害が出ている	<ul style="list-style-type: none"> ・ シカ肉やイノシシ肉などたくさん獲れるが、買う人、食べる人が少ない ⇒ジビエに関してポスターを新しくしたり、宣伝方法を考える必要がある
こと 景観に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で既に年2回のゴミ拾いや草刈りなどは行っている ・ 様々な所へ働きかけも行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人はずでに活動しているが高齢化で活動できる人が少ない ⇒今はボランティアが助けてくれるが、そのみでは続いていかない ⇒地元での協力者が必要となってくる
こと 歴史・文化に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ かやぶきの里 ⇒高齢化で管理や活動が難しくなっている ⇒できることは既にやっている <ul style="list-style-type: none"> ・ 大野ダム公園 ⇒残したい場所だが、ダム自体が古くなってきている	
こと ごみに関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堀越峠 162 号の不法投棄 ・ ごみの焼却施設 ⇒3月末に地域のゴミ処理施設が無くなってしまふ ⇒他の地域へもって行って処理することになる為その地域での分別方法になり、今までと違ってくるため、住民が混乱している ⇒ごみを一括で焼却できるような施設が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3Rの教育をする
(その他) 環境に携わる人づくり等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会、地域サロンが無くなっていく ⇒これも人口減少、高齢化が原因 ⇒組織の弱体化 ⇒空き家の増加にもつながる <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオディーゼル ⇒作ったものを使ってくれる人がいない <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルの場所や設置方法をしっかりしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何をするにも地元の協力体制が必要となる ・ これらのために人づくり教育が必要

2) B グループ

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

名称		備考
1位	玉岩地蔵	
1位	中世木 牧山	

- ・今後も残したい場所として、玉岩地蔵、中世木の牧山の火祭りなど歴史ある地蔵や伝統文化が多く挙げられています。
- ・このほか、畑郷の棚田や中世木セツブンソウ、レッドデータブックにも載っている丸山など貴重な自然や、多治神社などの歴史的建造物が挙げられています。
- ・中世木や生畑、殿田、木住では、地域の事を紹介するパンフレットを作成しており、地域の魅力の発信が行われています。



◆改善していききたい場所

名称		備考
1位	空き家	
2位	ゴミ・不法投棄	林道のゴミ

- ・改善していききたい場所として、空き家やごみの不法投棄が多く挙げられています。
- ・空き家に関しては、仏壇や家財道具があり貸すことが出来ないといった意見が挙げられており、仏壇の無い部屋を貸し出すといったアイデアが挙げられています。
- ・不法投棄については、回収した分だけキレイになるものの、暫くするとまた捨てられることが問題として挙げられています。
- ・ポイ捨て防止として、公園等のゴミ箱を減らすといったアイデアが挙げられています。
- ・このほか、年々減少しているホタルの保全などが挙げられています。

◆その他

- ・その他として、高齢化により人が減っており、後継者やリーダーの育成が大事といった意見が挙げられています。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関すること	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリング日吉 ⇒神戸、大阪から来ている人が多くキャンプが人気。インストラクターも増えている ・中世木のセツブンソウ（1） ⇒普通のセツブンソウと見た目が異なり、府立植物園にも保護されている ⇒6000坪の私有地にある ・畑郷たな田（1） ・畑郷くこなし滝 ・水分額 ⇒平地のものは珍しい ・丸山 ⇒レッドデータブックに載っている ・胡麻～保野周辺のホテル 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの減少 ⇒昔と比べて大分減っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルを保全するために、川の管理の仕方を考える必要がある
景観に関すること	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・世木ダム（1） ・かやぶく音楽堂 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家（3） ⇒仏壇を置いていると空き家を貸せない ・支所の隣の民家 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例として、仏壇がない部屋だけを貸すような取組もある
歴史・文化に関すること	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・玉岩地蔵（2） ⇒有名な地蔵で、大法要といった祭りも行っている ⇒周りの人が管理している ・中世木牧山 火祭り（2） ・山の家 ・多治神社（1） ・安鳥温泉 ・殿田梅若屋敷跡（1） 	
	改善していきたい場所		
ごみに関すること	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・林道、林道、河川の不法投棄（2） ・美化活動などで集めたごみをどう処分してよいかわからない ⇒分別が大変で若い人は分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱が多すぎる。ポイ捨てを減らすため、公園のごみ箱を減らしてはどうか ・不法投棄はごみをとったらその分だけ減っていく
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・人がいない、また高齢化で後継ぎがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者やリーダー育成が必要

＜今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア＞

◆自然や緑に関すること

- ・自然や緑を目的に移住者してくる人もいるが、より、定住者を増やすにはSNSなどで地域の魅力を知ってもらう、また発信していくといったアイデアが挙げられています。
- ・獣害について、電気柵を設けることは一定の効果があるものの、他の地域に被害が移るだけであり、根本的な解決策にはなっていないといった意見が挙げられています。

◆景観に関すること

- ・太陽光パネルは処分の際に困るといった意見が挙げられています。

◆歴史・文化に関すること

- ・地域の歴史文化を守るため、高齢者に伝承を聞き、郷土史などにして残していく活動をするといったアイデアが挙げられています。
- ・このほか、かやぶきの里や薪ストーブに関して、地元の住民より移住者の方が興味関心をもっているといった意見が挙げられています。

◆ごみに関すること

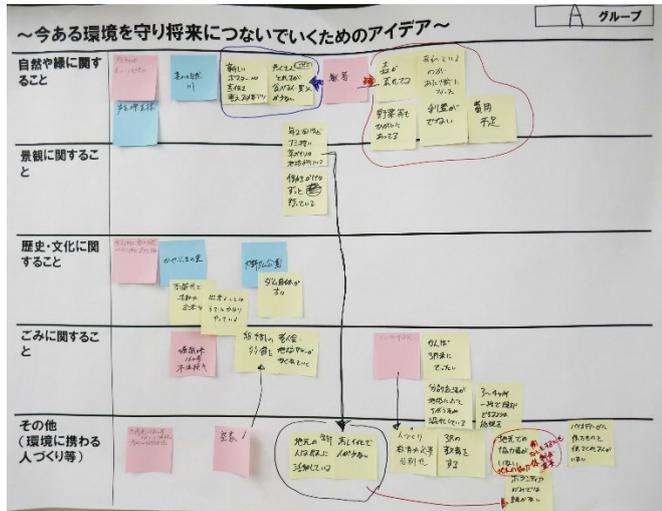
- ・不法投棄に関して、ダミーでもよいので監視カメラを設置したり、住民たちでこまめな清掃をしていき、美化意識の醸成につなげていくといったアイデアが挙げられています。

◆その他（環境に携わる人づくり等）

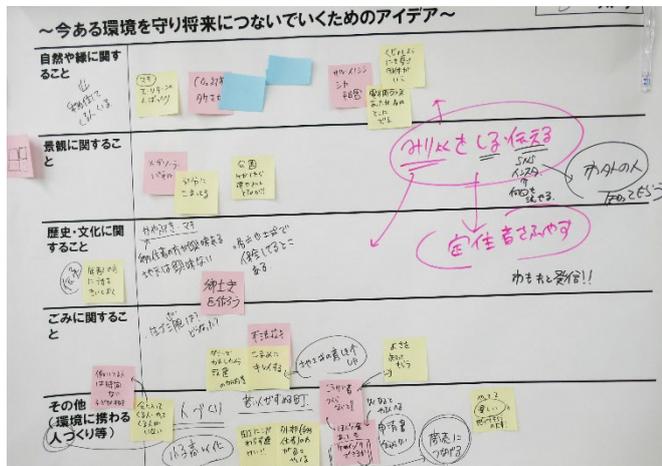
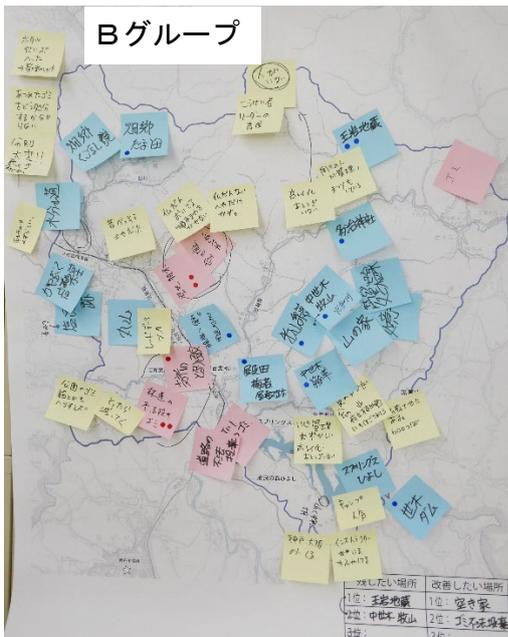
- ・環境の中で人づくりが最も重要な課題であり、若い人が住める街づくりをめざすため、後継者の育成や外部（移住者）がやっている取組を地元住民にも広げていくこと、そして町にこだわらない連携をしていくといったアイデアが挙げられています。
- ・このほか、地域の良さを知ってもらったり、楽しいと思ってもらえる活動内容や体制の構築、有償ボランティアの活用といったアイデアが挙げられています。

	主な意見	アイデア
こと 自然や緑に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や緑に触れるために移住してくる人がいる ・薪ストーブを利用するのはI・Uターンの人ばかりで地元の人は殆ど活用しない ・自然を目的として訪れる人が多い ・サル、イノシシ、シカ被害が多い ⇒駆除しようとしても愛護団体にいろいろ言われる ⇒電気柵は効果はあるが、柵をしていない別のところに出る	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂対策 ⇒タケを切る⇒タケ炭として活用してはどうか ・定住者を増やすためにも地域の魅力を知る、伝えることが必要 ⇒SNS等は何度でも発信ができるし、市外の人にも知ってもらえる可能性が高い ⇒市ももっと発信していく必要がある
こと 景観に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル ⇒処分に困る ・公園で怪我をしたら誰が責任を取るのか 	
こと 歴史・文化に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・かやぶきや牧は移住者の方が興味を持っているが、地元の人は興味がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方に伝承などの話を聞いたり郷土史をつくり、歴史文化を後の世代に残していく ⇒既に各地域で保全しているところもある
こと ごみに関する	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみたい肥はどうなったのか ・不法投棄が問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄を無くすために、こまめに綺麗にして地域の意識を上げることが大事 ・ダミーの監視カメラや看板を設置してはどうか
その他 (環境に携わる人づくり等)	<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりが一番重要な課題 ⇒自治会に入ってくる人、やってくる人がいない ⇒働いている人は時間が無く、子供の相手もしないといけない ・後継者不足 ⇒補助金があっても継続できるか心配(なくなるとやる人は減る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が住めるまちづくり ⇒町にこだわらず連携する。 ⇒外部(移住者)の方が色々やっているため、それを地元住民にも広げていくことが大事 ・地域の良さを知ってもらう ・商売につなげる ・やって楽しいと感じてもらうことは大事 ・無償のボランティアでやっていくのは難しい

Aグループ



Bグループ



(3) ご意見シート

①ワークショップに参加した感想はいかがですか。

選択肢	回答数
1. 有意義だった	6
2. 普通	1
3. 有意義ではなかった	0

②ワークショップについてそれぞれの項目欄であてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

1. ワークショップの時間

選択肢	回答数
適切だった	7
長かった	0
短かった	0

2. ワークショップの内容

選択肢	回答数
理解できた	5
難しかった・わかりづらかった	2
どちらでもない	0

3. ワークショップの進め方（話し合う形式）

選択肢	回答数
良かった	4
悪かった	2
どちらでもない	1

4. 意見を言う雰囲気

選択肢	回答数
言いやすかった	6
言いにくかった	1
どちらでもない	0

③ご意見・ご要望

- 個々の具体策を SDGs の目的項目へ落とし込めるようなワークショップを次回よりお願いします。
- 高齢者が多くなり空き家が増える一方である、何か活用できれば良い。
- もっと住民に知ってもらうことが必要だと思います。各個人が自覚をもってもらうことが大事。
- ゴミ問題、不法投棄、人づくり
- 市民の意識改革を一人でも多くいかにやるかを考えなければ。

第1回 南丹市環境ワークショップ 結果概要

(1) ワークショップの概要

- ・開催日：令和2年2月2日（日） 13：30～14：00
- ・場 所：美山文化ホール第1・2・3会議室
- ・参加者：7名



<プログラム>

時間		内容	
13：30～ 13：45	15分	開会 1 はじめに ・あいさつ ・南丹市の環境に対する取組について	
13：45～ 13：55	100分	10分	2 意見交換 ①自己紹介
13：55～ 14：45		50分	②お住まいの地域の環境について ・説明 ・意見交換
14：45～ 15：25		40分	③今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア ・説明 ・意見交換
15：25～ 15：50	25分	3 成果発表 ・②、③の成果発表（1グループ5分×2）	
5：50～ 16：00	10分	4 おわりに ・あいさつ ・ご意見シートの記入	
16:00		閉会	

(2) ワークショップの結果

<お住まいの地域の環境について>

◆今後も残したい場所

	名称	備考
1位	かやぶきの里	
2位	芦生原生林	
3位	大野ダム公園	

- ・今後も残したい場所として、今も人が住んでいて観光地にもなっているかやぶきの里、京都大学が管理し、貴重な植生が残っている芦生原生林、ダム公園といった農村風景や自然を挙げる参加者が多くなっています。
- ・このほか、棚区内のイチョウや美山川、内久保のベニバナヤマシャクヤク、カラト溪谷など、美山町内の自然や集落の景観などが多数挙げられています。

◆改善していききたい場所

	名称	備考
1位	不法投棄・ごみ	川や道路沿いにある
2位	太陽光パネル	景観が良くない
2位	里山、休耕田	荒れている

- ・改善していききたい場所として、美山町内の不法投棄・ごみや太陽光パネル、荒れた里山や休耕田といった景観を損ねるものを挙げる参加者が多くなっています。
- ・不法投棄・ごみについては、特に162号線沿いや美山川、由良川などでの対策が必要といった意見が挙げられています。
- ・太陽光パネルについては、里山の景色を損ねており、外部から来た人ががっかりされたり、管理者が分からないものがある困るといった意見が挙げられています。
- ・里山や休耕田については、管理が行き届いておらず荒れている場所が多く、倒木や電線切れなどによる被害などを防ぐための管理の強化が求められています。
- ・このほか、空き家の増加や西の鯖街道がごみなどで荒れているといった意見が挙げられています。

※（数字）：特に今後も残したい場所、改善していきたい場所として貼られたシールの数

※青字・赤字：貼られたシールが多かった場所各上位3位

		主な場所と意見	アイデア
自然や緑に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・洞区内の滝とホテル ・由良川（1） ⇒アユのつかみどりといった川遊びを今でも行っている ⇒水が綺麗 ・棚区内のイチョウ ・美山川 ・殿区内のサクラ ・内久保のベニバナヤマシャクヤク（1） ・棚野川の自然 ・島の城山 ・庄田区内のかやぶき民家 ・美山町内の石木 ・カラト溪谷 ・かやぶきの里（5） ⇒今でも人が過ごしているのがすごい ⇒管理が大変 ・芦生原生林（4） ⇒ツアーをしている ⇒京都大学が管理し、貴重な植生が残っており大切にしたい 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害 ⇒雪が無くなるとシカが増えるため、被害の拡大が心配 	
景観に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・大野ダム公園（2） ⇒上流の由良川の景観（並木） ⇒桜祭り、モミジ祭をしている ・府道からみた原集落の風景 ・原川のモミジ街道 ・下屋敷集落 ⇒小林家住宅（かやぶき民宿）や西乗寺、松がある ⇒寿命が600年を超えるサクラがある 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・西の鯖街道（1） ⇒道が荒れている ・盛郷の上げ松公園（1） ⇒土砂が堆積している ・太陽光パネル（2） ⇒太陽光パネルは事業者が適正に管理しているところもあるが、していないところもある ・美山町内の里山、休耕田（2） ⇒荒れており、倒木や電線切れなどがおきる ⇒美山支所近くに休耕田が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒山林の管理の強化 ⇒気候変動に伴う災害への対策
歴史・文化に関する事	今後も残したい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・美山町内の寺社 	
	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・廃屋（空き家） 	
ごみに関する事	改善していきたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄、ごみ（3） ⇒162号線や美山川、由良川など ⇒上流にもゴミがみられる 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・集落によって移住者とのコミュニケーション具合が異なる ⇒祭があるところに移住する人が多い 	

<今ある環境を守り将来につないでいくためのアイデア>

◆自然や緑に関すること

- ・南丹市は森が豊かであり、美山で行っているような循環型社会の構築に向けた取組（建物を建てる際に地元の木材を使用するなど）を美山以外でも進めていくといった、もっと木の活用を行う仕組みづくりが大事といったアイデアが挙げられています。
- ・獣害に関して、現状では駆除するしかなく、ジビエとして料理に活用するも文化がないため定着していかないといったことが挙げられています。

◆景観に関すること

- ・休耕田について、担い手がおらず、所有者が分からなくなっているため、国がしっかりと方向性を示すといったアイデアが挙げられています。

◆歴史・文化に関すること

- ・人が減っていて寺社や歴史文化が守れないことが課題となっており、高齢者に聞き取りをして地域の歴史・文化を本など記録として残していくことで、保存していく必要があるといったアイデアが挙げられています。
- ・また、これらの歴史文化に地域住民がふれることで、郷土愛（大事にする気持ち）や意識の醸成が出来るといった意見が挙げられています。
- ・歴史・文化を守る取組は市民だけでは難しく、市の支援が必要という意見も出ています。

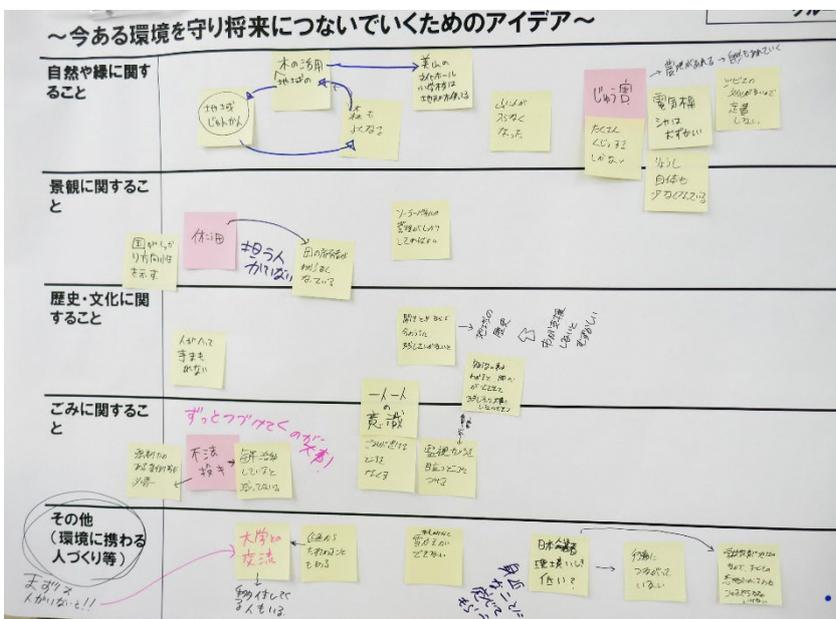
◆ごみに関すること

- ・不法投棄に関して、毎年の活動で徐々に減っているものの、現状をさらに改善するには今の取組を継続していくことや、一人ひとりが意識して生活することが大事だというアイデアが挙げられています。
- ・このほか、目立つところにダミーの監視カメラを設置し、不法投棄を未然にけん制することや、強制力のある条例などの制定による対策も必要といったアイデアが挙げられています。

◆その他（環境に携わる人づくり等）

- ・環境の中で人づくりが一番重要と答える参加者が多く、人づくりを進めるには、現在行っている大学生との交流などを活用して人を確保していくといったアイデアが挙げられています。
- ・また、日本人は海外と比べて環境意識が低いといったことが問題があり、子どもの内から環境に対して意識を持ってもらうような教育をする、また、環境問題を身近に感じてもらうことが必要といったアイデアが挙げられています。

	主な意見	アイデア
こと 自然や緑に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害 ⇒山に人が入らなくなったため、山が荒れている ⇒獣害で農地が荒れると自然も荒れていく ⇒電気柵でイノシシ等は防げるがシカは難しく、また、柵を設置しても別の場所がまた被害に合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の木を活用することにより、森も良くなり、地域循環につながる ⇒美山の文化ホールや小学校には地元の木が使われている。こういった取組を全域で出来ないか <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害対策 ⇒たくさん駆除していくしかない ⇒猟師の数が減っており、抜本的な対策が必要
こと 景観に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田 ⇒担う人がおらず、所有者がわからなくなっている田んぼもある <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーラーパネル ⇒しっかりと管理してくれるならよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田んぼについては、国がしっかりとした方向性を示す必要がある
こと 歴史・文化に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が減っているの寺社が守れない 	聞き取りなどをし、地域の歴史を残す ⇒知らないことを知ることにより、残したり大事にする気持ちが出てくるのではないか ⇒市が支援していかないと難しい
こと ごみに関する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄 ⇒毎年の活動で徐々に減っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄・ごみの回収を継続していくことが大事 ⇒一人ひとりの意識が大切 ⇒目立つところにダミーでもよいので監視カメラをつける ⇒ごみを置けそうなところを無くしていく ⇒看板やポスター等で良心に訴えるだけではなく、強制力のある条例や法律が必要
その他 (環境に携わる人づくり等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人づくりをするにはまず人がいないといけない ・ 大学生との交流がある ⇒ただ手伝うだけではなく、企画から携わることもあるし、そういった活動を経て移住してくる人もいる <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人のみだと雪かきができない ⇒ボランティア等に手伝ってもらっている <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人の環境意識が低い ⇒環境の事を学んでも、環境を守る行動に繋がっていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育、地域教育の中で子どもの意識に残るようなことをやっていかないといけない ⇒身近なことに感じてもらう



(3) ご意見シート

①ワークショップに参加した感想はいかがですか。

選択肢	回答数
1. 有意義だった	3
2. 普通	2
3. 有意義ではなかった	0

②ワークショップについてそれぞれの項目欄であてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

1. ワークショップの時間

選択肢	回答数
適切だった	3
長かった	2
短かった	0

2. ワークショップの内容

選択肢	回答数
理解できた	3
難しかった・わかりづらかった	0
どちらでもない	2

3. ワークショップの進め方（話し合う形式）

選択肢	回答数
良かった	3
悪かった	0
どちらでもない	2

4. 意見を言う雰囲気

選択肢	回答数
言いやすかった	4
言いにくかった	0
どちらでもない	1

③ご意見・ご要望

- 環境や景観を維持していくのには、なんといっても人材の確保です。今後、人材の確保が全ての項目に影響するとおもいますので、いかに確保するか考えてほしいです。
- 新しい設定として、国定公園をどうするか。
- 参加者が少なく残念でした。地元の人を指定して参加してほしい（感心のある人）。
- 2つめのテーマ（アイデア）がぼんやりしていて話の目的が定まりにくかった。